

はと組

— 年間目標 —

- ◎ 身の回りのことを自分で出来るようになる
- ◎ 保育者に親しみ、友だちと関わりを持ちながら、集団生活に必要なきまりを知って元気に過ごす

— 1学期目標 —

- ◎ 園生活の流れを理解し、保育者に見守られながら遊びを楽しむ
- ◎ 身近な自然に関心を持ち、自分の思いを言葉だけでなく表情や姿であらわす

— 活動内容 —

て・あしでぺたぺた

(健康な心と身体、共同性、思考力の芽生え、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・手や足に絵具を付けて模造紙に手形や足形をつける活動を行った。水色と緑の2色を準備し、好きな色で活動に参加できるようにした。
- ・足に絵具を付けて「冷たいね」「くすぐったいね」と不思議な感触を楽しんでいる姿が見られた。
- ・同じ場所に絵具を付けていた子どもが同じ場所に絵具を付けたら紙が破れるという事に気付いて他の子どもにも「絵具をつけすぎたら紙が破れるよ」と教えている姿が見られた。
- ・絵具の感触が苦手な子も見られたが、友だちの楽しそうに活動している姿を見て活動に参加しようとする姿が見られた。



じぶんでできるよ

(健康な心と身体、自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え)

- ・朝の準備や帰りの準備など最初は何から取り掛かればよいのか分からなかった子ども達も毎日繰り返す行うことで流れを理解し、自分で準備を進められるようになった。
- ・友だちと「次はタオルを出そう」「終わったら〇〇して遊ぼうね」など声を掛け合いながら準備を進めている姿も見られた。
- ・体操服への着替えも前後が反対になってしまう事もあるが、一人で着替えようと頑張る機会が増えた。



— 1学期の反省 —

- ・ 朝の準備など流れを理解して自分でしようとしている姿が多く見られた。また、新しい環境に慣れ活動を楽しんでいる姿が見られた。
- ・ 新しい友だちとも積極的に関わろうとしている姿が見られたが、自分の気持ちを言葉で伝えられないこともあるため、自分の気持ちを言葉で伝えられるよう2学期も引き続き練習していきたい。

— 2学期の目標 —

- ◎ 自分の気持ちを言葉で伝え、多くの友だちと関わろうとする
- ◎ 秋の自然に触れ合いながら、楽しく様々な活動に参加する